

「会長所信表明」

中央剣道会 会長 長田克巳



調布市剣道連盟は発足当時から一つの団体として稽古やその他の剣道活動を行っていました。時代の流れとともに、複数の地元剣道会の活動が始まり本会は剣道連盟の所属団体として他団体と同列の組織となるために平成5年4月に「調布中央剣道会」と名称を変更した経緯があります。中央剣道会の歴史は調布市剣道連盟の歴史でもあることは言うまでもありません。

そのような伝統ある中央剣道会会長を4月より務めており、責任の重さをひしひしと感じているところです。私は会長として「生涯剣道」、「交剣知愛」を理念に置き会員の皆様が精進されることを切に願い、次の点を具体的な指導方針に掲げます。

1、少年部の健全育成

- 一 礼儀を正しくしましょう
- 一 うそをつかないようにしましょう
- 一 他人に迷惑をかけないようにしましょう
- 一 心身ともに強い人になりましょう

上記道場訓は中央剣道会に参加された方は誰しも整列時に全員が唱えているところを聞いたことがあると思います。それだけ中央剣道会は昔からこの道場訓を第一に考えてきました。これからもこの道場訓を大切に、少年少女を育成してゆきます。また、「お楽しみ会」「合宿」等の企画を通して、彼らが楽しく充実した稽古ができるよう工夫してまいります。

2、一般会員の技術の向上

少年部同様、一般の部も充実した稽古ができております。それは経験豊富な指導陣と意欲的に指導を受ける会員がいるからこそ成り立っているわけです。今後も基礎基本の徹底を継続し、会員一人ひとりの実力の向上に努めます。

そして通常の竹刀による稽古の他に、日本剣道形の稽古を月一回行っています。このことも生涯剣道に通じるものと捉えております。

さて、中央剣道会の稽古場所である西調布体育館が数年後に閉鎖されるという事実を目の当たりにし、戸惑いを感じた日々もありました。この素晴らしい体育施設が閉鎖されてしまうということで断腸の思いではありますが、一方で西体に替わる施設が調布中学校敷地内に建設されるということも期待に胸がときめくところです。このような状況の中、私たち中央剣道会会員は己を信じ、毎回しっかりと稽古を積んでゆき自己研鑽に励むことが必要不可欠なのです。そうすることで新しい環境になっても剣道に対する想いを紡いでゆくこととなります。

会員の皆様におかれましては健康に留意し、ますます稽古に励まれることを祈念いたしております。